

# 熊谷家一般公開始まる！ ふるさと探検隊 ～清水隊員のレポート～



編集部員がふるさと探検隊を結成し、地元の旬な場所や話題を体当たりレポートします

来夏の世界遺産登録が予定される石見銀山遺跡の中核エリア・大森町の町並みにある「熊谷家住宅」(1998年に国の重要文化財に指定)の修復に大田市が乗り出してから4年半、ついに現代に甦りました。町並み入口から50メートルほど行くと左手に白壁の大きな屋敷が見えてきます。これが、今回公開された熊谷家住宅です。

**玄関** 関をくぐると、広いたたきの土間と、少し高い箱段。ひと昔前はこんな造りだったなあと懐かしい気持ちになりました。

**靴** を脱いで上がると、右手に勘定場があり、順路に従って進むと、次々と部屋が現れてきます。居間、茶室等々全部で30以上の部屋があり、まるで迷路のようです。ところどころに小庭があり、心を和ませてくれます。

**衣** 装蔵では、歴史展示、酒造展示などがしてあります。パソコンで「熊谷家住宅」の変遷、修復前後の違いを知ることができます。

**主** 屋と土蔵の2階には、当時の嫁入り道具、家人が着ていた衣類・寝具、大森に古くから伝わる料理を再現させたものなどが展示されています。ただ、2階への階段は、急勾配なので、昇り降りには充分気をつけて下さい。

**台** 所に行くくと、石の流し台があり、大きな釜戸がたぐさん並び、蒸籠も高く積まれています。着物を着て、手ぬぐいをし、たすきを掛け、忙しく煮炊きする女の人の姿が目に見えます。

**落** ち着いたたたずまいに、思いながら、すべてを見学し

終わって時計を見ると、驚くほど時間が過ぎていました。皆さんも忙しい日常を忘れ、ゆったりと時間の過ぎ行く空間を味わってみてはいかがでしょうか。

有料施設の入場割安チケットを販売中。チケット1枚につき、各施設1回入場できます。

### 対象施設

- 石見銀山資料館 ○五百羅漢(羅漢寺)
- 旧河島家住宅 ○熊谷家住宅 ○龍源寺間歩

### チケット取扱

- 大森観光センター Tel.0854-89-0333
- 石見銀山資料館 Tel.0854-89-0846
- 羅漢寺 Tel.0854-89-0005
- 龍源寺間歩 Tel.0854-89-0347



### 販売価格

- 大人 1枚1,500円(600円オトク)
- 子供 1枚 700円(300円オトク)

## シリーズ

# 新石見銀山 ③



### 「山中の宅地跡」

銀を産出した仙ノ山(銀山柵内)は、閉山した後、自然へ帰り現在は竹林に覆われています。しかし、地形測量、学術的な踏査や発掘調査を継続して行っていると、さまざまなことが明らかになってきています。今回は、「山の中に残っている宅地跡」について紹介します。

平成8〜10年、仙ノ山頂上付近の標高470mほどにある石銀(いしがね)地区の平坦地における発掘調査で、17世紀初頭にさかのぼる吹屋(ふきや)製錬所跡が発見されました。ここでは、道路や側溝が配置され、これらの吹屋が連続して計画的に建てられていたことも明らかになりました。検出された出土遺物には選鉱や製錬に使った道具類とともに、茶碗、箸、下駄などの生活雑器や煙草を吸うためのキセルや髪をすくクシなども出てきました。これらのことから、生活も営まれていたことが分かりました。

20年近くわたる石銀地区とは別に、仙ノ山の山中にはもつと小規模な平坦地がたくさんあります。傾斜地を単純に削りつて平らにしたもの、切り盛りしたものなどさまざまで、石垣を設けたものもあります。今年3月、竹切り活動で石銀



寺院跡の石垣(巨石積み)

現在のところ、仙ノ山一帯は危険な箇所も多く、山の中へみだりに入り込むことは危険です。しかし、今年度から遺跡の保存と活用のための整備が始まります。やがて、遺跡ガイド付きで間歩(まぐら)やこれらの宅地跡を訪ねる機会を提供していこうと考えています。

☆開館時間/午前10時〜午後5時(入場は午後4時30分まで) ☆入場料/高校生以上500円、小・中学生100円  
☆休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 ☆電話/0854-89-9003